

問 学校カウンセラーの常勤配置を

答 週1回のカウンセリングで対応



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団

問 スクールカウンセラー（SC）とスクールソーシャルワーカー（SSW）の新旧年度からの体制は。

答 教育部長 SCは、相談回数を増やした。

SSWは、新たに1名を配置し、各校を巡回。

問 SC1人当たりどれくらいの費用が必要か。

答 報酬が積算で約600万円。これに期末手当等が加算される。

問 名古屋市と同じように、中学校に常勤配置する場合、どれくらいの予算が必要か。

答 報酬額は約1800万円。

問 SCを常勤配置しなければ、昨年の事件のような事象は防げないと思われるが、市の認識は。



答 令和4年度は、SCとし、支援を進める。

問 せめて中学校に常勤配置できないのか。

答 必要性は感じるが、現状は週1回のカウンセリングで対応。

問 市長の英断で、新年度からSCを常勤配置してはどうか。

答 市長 SCによる心の支援に、SSWによる生活環境への支援を加え、多面的に支援していく。

問 コロナから市民を守るために

答 国県市それぞれの支援の活用を

問 なぜ支援策一覧が更新できていないか。

答 現在では支援は複雑多岐にわたるので、それぞれの窓口で確認をされたい。

問 保健所のサポートを行うことはできないか。

答 2月から本市職員1名を津島保健所に派遣している。

問 市にコロナ相談窓口を置いては。

答 全庁一丸となって相談に対応。

問 感染が疑わしい時や、感染が発覚した場合どのようにすればよいか等、周知を行うては。

答 市ホームページや広報に、ワクチン接種と相談窓口等の情報を掲載。

問 必要な時に必要なだけ検査が行えるよう市が補助しては。

答 考えていない。

問 市の支援から漏れてしまった人に、支援を考えたのか。

答 市民生活部長 拡充は考えていない。

問 市長の英断で予算拡充を。

答 市長 それぞれの制度の活用を。



▲津島保健所ホームページ